



—滋賀の水環境ビジネスの取組について

平成27年度

滋賀県商工観光労働部商工政策課

①チーム台南会議開催(毎月1回)

■チーム台南とは:

平成26年から台湾・台南市における水環境課題やニーズ調査を行い(特定非営利活動法人カーボンシンクに委託)、台南市での事業化に向けて、メンバー企業に台南市の状況を伝達し、検討する場である。

■会議の実施状況:

- ①平成27年4月23日、②平成27年9月17日、③平成27年10月16日、
④平成27年11月19日、⑤平成27年12月21日、⑥平成28年1月27日、
⑦平成28年3月16日



②ベトナム・カットバ島での現況把握調査 (JICA草の根技術協力事業関係)

■出張期間: 平成27年5月19日(火)～24日(日)

■出張先: ベトナム ハイフォン市

■出張者: 商工政策課職員2名、琵琶湖環境部職員1名、ILEC1名 ※事業共同実施者の企業と共に

■内容: 現地の状況やニーズの調査、受入れ研修の事前調整

■訪問先:

ハイフォン市天然資源環境局環境モニタリングセンター、
カットハイ郡人民委員会天然資源環境室、ハイフォン市オペラハウス、
ハイフォン市天然資源環境局、カットハイ郡人民委員会

■視察先:

カットバタウン(ホテル前の配管、海への排水口、公衆トイレ、ポンプ場、市場、トゥンディン湾の関、
排水処理施設、ニョクナム工場)、水上生活者居住海域(ベンビャオ村)



しが水環境ビジネス推進フォーラムの活動 H27年度ー2

③ベトナム地方行政機関職員の受入れ研修実施 (JICA草の根技術協力事業関係)

■日程：平成27年6月27日(土)～7月5日(日)

■研修対象者：ベトナム地方行政機関の職員(技術職、事務職)等 14名
(ハイフォン市天然資源環境局長、ハイフォン市天然資源環境局環境モニタリングセンター長、
カットハイ郡人民委員会副委員長、カットハイ郡天然資源環境局長 など)

■研修内容：

- (1) 水質が悪化した琵琶湖を滋賀県ではどのようにして水質改善してきたのか、講義や関連施設への視察等を通して、日本側から説明。
- (2) カットバ島の水環境改善に向けた課題および今後実施していくべき活動について、ワークショップを通して全員で考える。

月日	時間	内容
6.27	11:00-12:00	オリエンテーション
6.28	9:30-11:00	講義(研修の目的・概要)
	11:15-12:15	昼食会
	13:00-16:00	講義(生活系排水対策)
6.29	9:30-12:30	講義(産業系排水対策)
	14:00-16:00	講義(産学官民連携)
	16:10-18:00	打ち合わせ
6.30	9:00-15:00	視察(排水処理施設)
7.1	9:15-10:15	体験(びわ湖の日一斉清掃への参加)
	11:00-11:30	視察(赤野井湾)
	11:30-12:10	講義(琵琶湖博物館)
	13:10-15:00	視察(琵琶湖博物館)
	16:00-16:30	滋賀県知事表敬訪問

月日	時間	内容
7.2	9:30-12:00	講義(環境保全の意識づくり)
	13:30-16:30	講義(公共用水域の水質モニタリング)
	16:30-17:15	視察(琵琶湖環境科学研究センター、調査船)
7.3	9:30-10:30	講義(ワークショップ説明)
	10:40-18:00	ワークショップ
7.4	9:30-11:00	ワークショップ成果発表会
	11:00-12:00	アンケート、修了証書授与

③ベトナム地方行政機関職員の受入れ研修実施（つづき）



講義の様子



農業集落排水処理施設の視察
(テレビ局にも取材していただきました)



(株)日吉への訪問



滋賀県知事表敬訪問



ワークショップの様子



成果発表会

④中国湖南省と「水環境分野における産業振興に関する覚書」を締結

■締結日：平成27年8月10日

■概要：滋賀県知事と湖南省長が、平成27年8月10日に調印した「友好交流に関する覚書」に基づき、滋賀県商工観光労働部長と湖南省科学技術庁長は、水環境分野の産業振興に関する交流と協力を推進していくための覚書を取り交わした。

中华人民共和国湖南省－日本国滋賀県 就水環境領域产业发展备忘录

湖南省人民政府副省长兼与滋賀県三日月大使が、于2015年8月10日签署了“友好交流备忘录”，以此为契机，湖南省科学技术厅与滋賀県商工観光労働部，在两省县之间长期的友好交流基础上，本着平等互利的原则，在两省县的管辖及权限范围内，以遵守两国、两省县的相关法律、条约及两国间缔结的相关国际条约、准则为前提，经友好协商，双方同意在水环境领域，在两省县之间开展具有实际意义并能给双方带来实质性利益的友好合作。

1、两省县以双方各自拥有的水资源商务推进论坛平台和湖南省国际技术转移联盟为窗口，利用各自的网络，力求为推进对两省县的产业振兴、水环境问题的解决有贡献意义的技术交流做出积极地协同合作。

2、为达到上述目的，为双方的企业、大学、研究机构等相关社会团体的交流和合作积极地提供条件和创造机会。

3、为双方企业及相关社会团体在实际的业务开展中可能涉及到的知识产权的保护，提供积极地配合工作，共同维护相互良好信任关系的建立。

为了保证技术合作的顺利开展，指定滋賀県商工観光労働部商工政策課和湖南省科学技术厅省水资源研究和利用合作中心为窗口联络单位。

我们一致认为，我们的共同合作，对两省县的繁荣及两省县民众的幸福具有重要意义，交换以上内容备忘录。

签署日期：2015年8月10日

中华人民共和国
湖南省科学技术厅厅长
童旭东
日本国滋賀県
商工観光労働部部長
福永 克彦

日本国滋賀県－中华人民共和国湖南省 水環境分野における産業振興に関する覚書

滋賀県知事三日月大使と湖南省長杜家毫が、2015年8月10日に調印した「友好交流に関する覚書」に基づき、滋賀県商工観光労働部長と湖南省科学技術庁長は、これまで築き上げてきた友好交流の基礎に立ち、平等と互惠を原則として、両省県の管轄と権限の範囲内で、両国、両省県における法令、及び両国が締結する国際条約、協定に拘り、水環境分野の産業振興に関する交流と協力を推進することとし、両省県に実質的な相互利益をもたらすことを目的とした友好的な協議を経て、以下の内容に合意した。

- 1、両省県は、しが水環境ビジネス推進フォーラムや湖南省国際技術移転連盟など、双方が有するネットワーク等を活かしながら、両省県の産業振興に向け、水環境課題の解決に貢献する技術等に関する協力を推進する。
- 2、両省県は、上記の協力を進めるにあたり、積極的に双方の企業、大学等研究機関、団体間の交流と連携を促進される機会の提供に努める。
- 3、両省県は、双方の企業や団体間の取引において、知的所有権の保護に協力し、相互の良好な信頼関係の構築・維持に努める。

なお、両省県は、技術協力を円滑かつ効果的に実施するため、双方の連絡機関を指定することとし、滋賀県は商工観光労働部商工政策課、湖南省は科学技術庁省水資源研究和利用合作中心とする。

我々は、これらの協力が、両省県の繁栄と両省県民の幸福にとって重要であるとの認識で一致し、ここに本覚書を取り交わすこととする。

日本国滋賀県
商工観光労働部部長
福永 克彦
2015年8月10日
中華人民共和國湖南省
科学技術庁長
童旭东
2015年8月10日



「日本国滋賀県－中華人民共和國湖南省
水環境分野における産業振興に関する覚書」(中・日)

⑤ベトナム・カットバ島での現地研修実施（JICA草の根技術協力事業関係）

■日程：平成27年9月28日（月）～10月8日（木）

■研修対象者：

ベトナム地方行政機関、公共施設管理公社、事業者、青年団、婦人連合会

■研修内容：

- (1) 行政を対象とした研修…排水施設等の現状把握、水質測定など
- (2) 事業者を対象とした研修…環境保全に向けた講義、水質測定など
- (3) 地域住民を対象とした研修…環境学習に関する講義、環境学習計画の検討など
- (4) すべてを対象とした研修…産官民連携した環境保全活動に関する講義、連携組織設立に向けた協議など



しが水環境ビジネス推進フォーラムの活動 H27年度－6

⑥HIDAふるさと名物応援事業海外人材活用地域資源魅力発掘事業の実施

- 概要： 本県にインドの行政・企業関係者を招へいし、本県の地域資源（琵琶湖）を中心に視察を行い、水環境ビジネスの展開にあたっての助言を得る。
- 日程： 平成27年10月18日～24日
- 実施主体：（株）日吉、（株）堀場アドバンステクノ、京都大学流域圏環境質研究センター、滋賀県
- 成果： 事業実施後、（株）日吉では、インド企業3社と契約に至った。

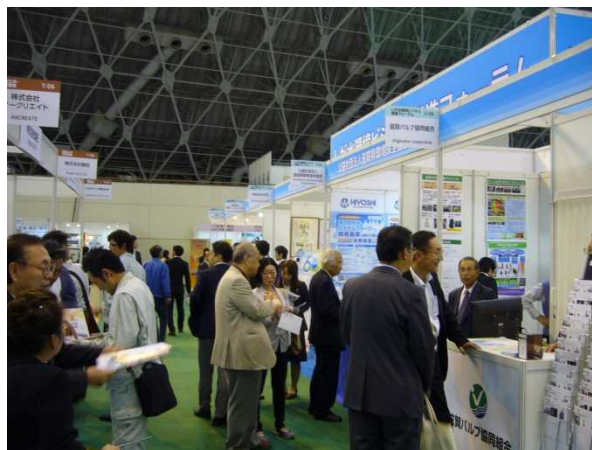
月日	内容
10.18	来日
10.19	オリエンテーション
	講義（滋賀県の取組）
	視察（県内工場）
10.20	視察（（株）日吉）
	講義（水処理）
	視察（県内工場）
	視察（農業集落排水処理施設）
10.21	視察（びわ湖環境ビジネスメッセ）
10.22	視察（ILEC）
	視察（琵琶湖博物館）
	視察（（株）堀場アドバンステクノ）
10.23	視察（京都大学流域圏総合環境質研究センター）
	総括
10.24	離日



⑦びわ湖環境ビジネスメッセ2015

特設ゾーン「しが水環境ビジネス推進フォーラム」の設置

- 開催期間：平成27年10月21日（水）～23日（金）
- 場所：滋賀県立長浜ドーム
- 300企業・団体が出展。来場者33,080人
- 特設ゾーン「しが水環境ビジネス推進フォーラム」では、フォーラムメンバーの9企業・団体が出展。
滋賀バルブ協同組合、中島商事(株)、木村電工(株)、ダイヤアクアソリューションズ(株)、
(公財)滋賀県環境保全協会、(有)服部エンジニアリング、(株)山久、(公財)淡海環境保全財団、
(株)日吉（順不同）
- フォーラムブースでは、滋賀の水環境ビジネスの取組や滋賀県のこれまでの琵琶湖保全の取組などを紹介。



⑧「第8回しが水環境ビジネスセミナー」の開催

■日時:平成27年10月21日(水)14:00～16:30

■場所:長浜バイオ大学 命江館中講義室1

■プログラム:

①ASEANにおける水環境の現況とビジネスの展望

(講師:JICA 技術審議役 森尚樹氏)

②アジアでのビジネス展開を図る企業による事例報告

(講師:株式会社環境総合テクノス 中川功氏)

③ベトナム・ホーチミン市の産業政策の紹介

(講師:ホーチミン市 サイゴン・ハイテク・パーク ドウック・フイ・グエン氏)

④名刺交換会

■参加者:102名



⑨「VIETWATER2015」へ出展

- 開催期間：平成27年11月25日（水）～27日（金）
- 場所：Vietnam Exhibition Fair Center（ベトナム・ハノイ市）
- 規模：出展は、380企業・団体。3日間で8857人の来場。
- 内容：

TEAM E-KANSAIとして、近畿経済産業局（地球環境センターに委託）、大阪商工会議所、びわ湖環境ビジネスメッセ事務局と共同で出展し、滋賀の水環境ビジネスのPRを行った。

また、これにあわせて、ブース内での企業プレゼン、ネットワーキングカフェも実施。ネットワーキングカフェでは、ドウェイン・モリス法律事務所のオットー マンフレッド倉雄氏より「ベトナムにおける環境ビジネス事情」について講演いただいた。その後、交流会を実施。



⑩「ベトナム建設省とのセミナー交流会」の開催

■日時:平成27年12月1日(火)10:00～12:00

■場所:淡海環境プラザ 2階研修室

■参加者(ベトナム側):ベトナム建設省技術インフラ局長、都市建設大学学長など 計8名

(日本側):企業15名、滋賀県および関係団体7名

■プログラム:

- 1.「ベトナムの水セクターの現状:機会と挑戦」(ベトナム建設省技術・インフラ局長 ゲン・ホン・ティエン氏)
- 2.「Water Quality Control in Lake Biwa」(滋賀県琵琶湖環境部下水道課長 斎野 秀幸)
- 3.「ベトナム・カットバ島の水環境改善事業の紹介」(滋賀県商工観光労働部商工政策課 竹内 雅美)
- 4.日本側企業プレゼンテーション
- 5.名刺交換、写真撮影



⑪ベトナム・カットバ島での現地研修および中間報告会の実施

(JICA草の根技術協力事業関係)

■日程：平成28年1月16日～24日

■研修対象者：

ベトナム地方行政機関、公共施設管理公社、事業者、青年団、婦人連合会

■研修内容：

- (1) 行政を対象とした研修…水質測定結果の分析、汚水処理の経費負担、汚水処理施設の運転管理など
- (2) 事業者を対象とした研修…日本の環境協会の活動紹介、環境保全パンフレットの作成など
- (3) 地域住民を対象とした研修…環境学習に関する講義、環境学習計画の検討など
- (4) すべてを対象とした研修…産官民連携組織の活動計画の検討など



講義



水質測定



中間報告会

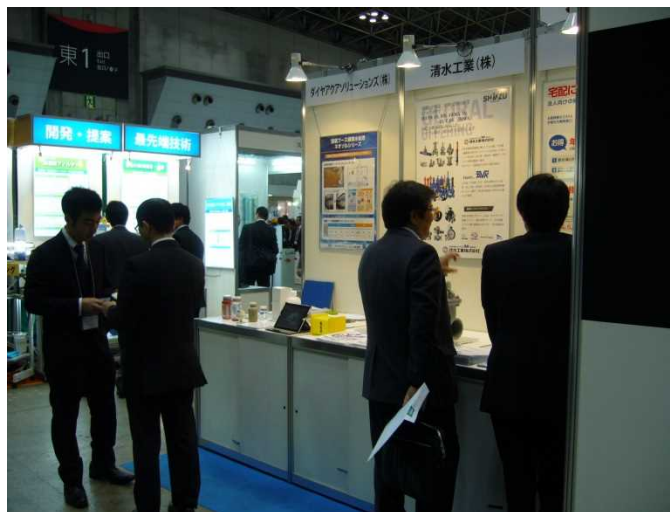
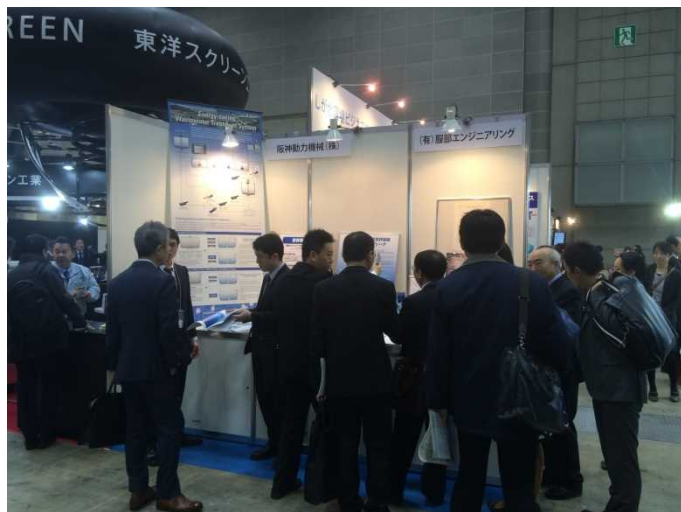


汚水処理施設の運転管理

しが水環境ビジネス推進フォーラムの活動 H27年度－12

⑫Inter Aqua2016へ『フォーラムパビリオン』として出展

- 開催期間：平成28年1月27日（水）～29日（金）
- 場所：東京ビッグサイト
- 「フォーラムパビリオン」には、フォーラムメンバーの5企業が出展。
（有）服部エンジニアリング、阪神動力機械（株）、ダイヤアクアソリューションズ（株）、清水工業（株）、（株）日吉（順不同）
- フォーラムブースでは、滋賀の水環境ビジネスの取組や滋賀県のこれまでの琵琶湖保全の取組などを紹介。



⑬台湾現地企業等とのマッチング会等実施

■日時: 平成28年3月9日(水)～12日(土)

■内容:

現地企業等とのマッチング会を実施するとともに、台南市政府機関等を訪問し、意見・情報交換を行った。

- ・現地企業等とのマッチング会
- ・農業用水路の視察
- ・台南市政府および関係機関との面会(経済発展局、新聞及国際関係処など)
- ・聯奇開発との面会
- ・遠東百貨店訪問 など

■訪問メンバー:

フォーラムメンバー3企業・団体、県庁、齊富興業(有)(通訳・随行)



マッチング会



マッチング会



農業用水路の視察

⑭マッチングセミナーの開催

■日時:平成28年3月15日(火)15:00～17:15 (交流会 17:30～19:00)

■場所:ホテルピアザびわ湖 6階 クリスタルルーム

■参加者:19企業・団体

■プログラム:

《企業様からのご提案「海外プロジェクトの『種』について」》

・「Team E-Kansaiにおける海外展開支援について」(公益財団法人地球環境センター(GEC))

・「ベトナムでの水環境事業の展開について」(株式会社日建設計シビル)

・「インドネシアの水環境市場における本邦中小企業のビジネスチャンス」

(一般社団法人アジア国際協力連携支援機構(AICA))

・「無錫市環境浄化プロジェクトへのお誘いと水ビジネスの種について」(株式会社アオヤマエコシステム)

《滋賀県等の支援施策紹介》

・経済産業省 近畿経済産業局 通商部 国際事業課

・滋賀県 商工観光労働部 商工政策課



《その他の活動》

- 草津エコフォーラム(主催:草津市)にて「滋賀の水環境ビジネス」について講演
(平成27年7月8日)
- 立命館大学琵琶湖Σ研究センターシンポジウムにて「滋賀の水環境ビジネス」について講演
(平成27年9月25日)
- 中国湖南省の技術研修員を受け入れ(テーマ:水環境ビジネス)
(平成27年10月20日～12月11日)

しが水環境ビジネス推進フォーラムの活動【H28年度実施予定】

目的

- 産学官民に蓄積されてきた琵琶湖保全の技術や経験、ノウハウ等を活かして、企業や大学等の研究機関、製品や技術、情報が集積され、水環境ビジネスが自律的に推進されることを目指す。
- 平成28年度は、これまで構築してきた「しが水環境ビジネス推進フォーラム」（129社／H28年1月現在）の活動やネットワークを足掛かりにして、県内企業とともに「琵琶湖モデル」を展開し、高い成長が見込まれるアジア市場を重点にビジネスプロジェクトの一層の創出・展開を図る。

①プラットフォーム活動

●広報活動

- ・「琵琶湖モデル」およびフォーラム参加企業の多言語による紹介冊子・DVDの作成



●情報提供・収集活動

- ・セミナーの開催等により、海外の水環境課題に関する情報の提供・共有や、ネットワークの構築

拡充

●プロジェクト創出に向けた案件発掘・コーディネート等事業

- ①対象国の情報収集・分析、課題発掘、ビジネス化に向けた方向性の整理
- ②プロジェクト創出に向けたメンバー企業の開拓、パートナーの発掘
- ③事業計画の策定、国資金等の活用支援
- ④現地政府機関等との協議・調整、現地企業等との技術交流・マッチング



②プロジェクトチームの組成・運営

●分科会の開催

- ・プロジェクトの創出に向けた、海外展開対象国ごとのチームの組成・運営の強化

*対象国（予定）

- ・中国
- ・台湾
- ・ベトナム

- ・専門家派遣等

③ビジネスプロジェクトの創出・展開

NEW

●海外展開事業化モデル事業

- ・事業化の加速に向け、県内企業がチームを組んで行う実現可能性調査、現地での実証実験、効果の検証を支援し、効果の「見える化」を図る
- ・上限1000万円×2か所(補助率1/2)

●商機拡大等支援

- ・海外や首都圏等での見本市への出展による販路開拓・マッチング機会の拡充



ビジネスモデルの具現化と横展開

ウォーターバレー滋賀の推進！

企業や技術、情報等の集積

●庁内連携会議

琵琶湖環境部等との連携強化